

全生存率		ランダム試験は存在しない。また、RRS Oの絡除を外きいたため、-1とした。	対象者はBRC A1または2	全体としてOSの改善傾向が示されているが、統計的な有意差を示さないものあり、-1とした。	BRC A1/2患者含でない研究が複数あり、-1とした。														
合併症		対象となる集団にBRC A変を含まない研究が複数含まれている。また、CRR Mの術式、施行期などはばらばらで、患者背景の統一は困難である。	"合併症"の定義調査時期、フォロー期間が多彩で、評価は困難であり-2とした。																
費用																			
患者の満足度		対象となる集団にBRC A変を含まない研究が複数含まれている。	"満足度"の定義調査時期、フォロー期間が多彩で、評価は困難であり-2とした。																